



日本応用地質学会

『令和 8 年度（第 42 回）研究発表会』開催のお知らせ

主催：一般社団法人日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会

令和 8 年度研究発表会を下記のとおり開催いたします。多数ご参加下さいます様ご案内申し上げます。

●日 時：令和 8 年 10 月 16 日（金） 10:30～17:00（受付開始 10:00～）

●場 所：福岡県中小企業振興センター4 階 401 会議室
福岡市博多区吉塚本町 9-15 TEL：092-622-6230（代表）

●参加登録費：¥1,000（会員），¥2,000（非会員），学生無料

※参加費には論文集（電子版）代を含みます。なお，論文集の印刷は行いません。

※非会員の方でも参加可能です。

※非会員であっても，所属企業が賛助会員の方は，1 企業あたり 2 名まで会員価格とします。○申込専用フォーム

●申込方法：参加希望者は，「参加者氏名」「所属」「メールアドレス」「連絡先」「会員種別」「参加形態（会場またはオンライン）」等の必要事項について，下記 URL から専用フォームにアクセスして申込を行ってください。

（これまでどおり事務局へメール・FAX による申込も可能です）

○申込専用フォーム（おすすめ） <https://forms.gle/z6dSi6dA7vQCzND8> （右上の QR コードからも入力できます）

申し込み後、参加登録費を郵便振替にて送金願います。

○申込期限 10 月 6 日（火）※お早めの申し込みをお願いします。

オンライン参加の場合は，通信状況によっては聞き取りづらいこともありますので，なるべく現地参加をお願いします。

●申 込 先：一般社団法人日本応用地質学会九州支部 九州応用地質学会 事務局

E-mail：office@kyushu-seg.org

〒812-0007 福岡市博多区東比恵 1-2-12 R&F センタービル 5F 日本工営株式会社 福岡支店 基盤技術部内

TEL：092-475-7564（グループ代表） FAX：092-475-7135

○郵便口座：01780-7-130199 口座名：九州応用地質学会事務局

※振込の通信欄には「研究発表会（ケンキュウハッピーウカイ）」と明記し、氏名と所属を記載ください。

●C P D：4.41（予定）

●意見交換会：6,000 円（税込：当日徴収）18：00～ 博多駅近くにて予定しております。

（若手セッション発表者、優秀発表者受賞者の方は無料となります。）

研究発表会 プログラム

時 間	内 容（○印は講演者）
10:30～10:40	開会の挨拶・・・矢野 健二 副支部長（ジオテック技術士事務所） （R8 熊本地震セッション：優秀発表賞対象外）
10:40～11:15	報告 1 日本応用地質学会九州支部/九州応用地質学会 災害調査団報告 ○矢野 健二（日本応用地質学会 災害調査団/九州応用地質学会 災害調査 WG）
11:15～11:50	報告 2 令和 8 年熊本地震－熊本の地質調査会社が発災直後から追った現地記録－ ○梅崎 基考（アバンス）
11:50～13:00	-----（休憩 70 分）----- （一般セッション）
13:00～13:15	発表 1 国立公園をフィールドとした総合的学習プログラムの展開 ～火山と水が生み出す多様性をテーマとして～ ※1 ○長谷川 怜思・吉田 雄治・小西 拓海（八千代エンジニアリング）・ 佐野 領・植村 友美（那須平成の森フィールドセンター）
13:15～13:30	発表 2 高精度点群から作成した地形モデルの詳細度が落石挙動に及ぼす影響 ※1 ○本田博之・川原咲南・三谷泰浩・笠間清伸（九州大学大学院） 吉川洸希・柴田佳久（大日本ダイヤコンサルタント）
13:30～13:45	発表 3 GX 戦略の実現に向けた盆状地域における中温熱水の活用と地質学的課題 ○義山 弘男・藤野 敏雄・梅田 香代（エディット）
13:45～14:00	発表 4 薩摩硫黄島・稲村岳の形成過程に基づく災害地質学：調査報告 ○奥野 充・松村虹希・一井 新（大阪公立大学大学院理学研究科）
14:00～14:10	-----（休憩 10 分）-----
14:10～15:10	特別講演『基盤地質地域の地すべり発生条件を決定する弱面ネットワーク』 京都大学防災研究所 斜面未災学研究センター附属 徳島地すべり観測所 准教授 山崎 新太郎 先生
15:10～15:15	-----（休憩 5 分）-----
15:15～15:30	（特別セッション） 発表 5 「使えない地質断面図」を書かないための調査手法 ○吉村辰朗（第一復建）
15:30～15:45	発表 6 鋸歯状段階揚水試験の薦め ○岡本正也（所属無し）・森永高行（日本基礎技術）・原槇友信（日本基礎技術）
15:45～16:00	（若手セッション：優秀発表賞対象外） 発表 7 地すべり調査について ○宮崎康平（アバンス）
16:00～16:15	発表 8 温泉地帯における地すべり抑止杭工の設計 ○砂川 祐輝（昭和ボーリング）・永井 宏樹（昭和ボーリング）
16:15～16:30	発表 9 水文調査における解析手法について ○吉元智洋（アバンス）
16:30～16:40	-----（休憩 10 分・優秀発表賞採点）-----
16:40～17:00	優秀発表賞表彰および講評・・・矢野 健二 副支部長（ジオテック技術士事務所） 閉会の挨拶・・・矢田 純 幹事長（カミナガ）

※1 九州応用地質学会「研究費助成事業 令和 8 年度採択研究」．事業詳細はこちら⇒<https://kyushu-seg.org/kenkyuhi-josei/kenkyuhi-josei.html>

